

経営比較分析表／団体全体（令和6年度決算）

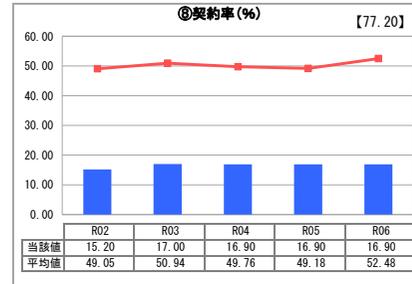
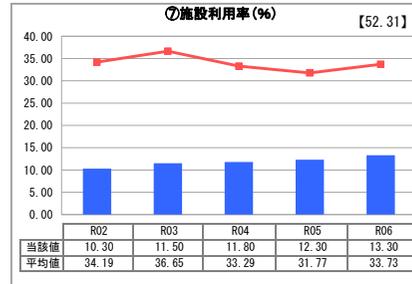
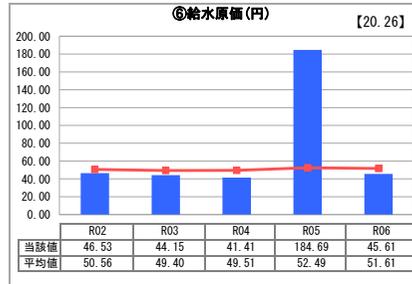
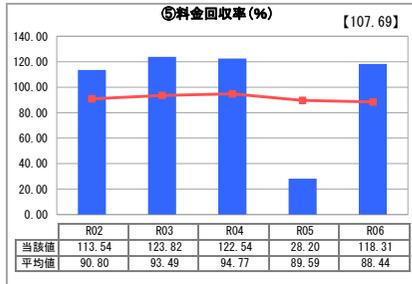
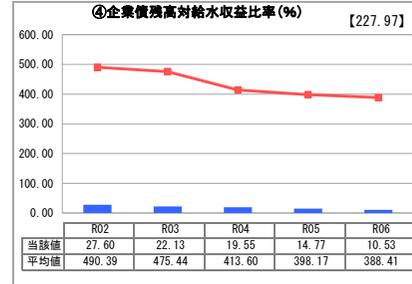
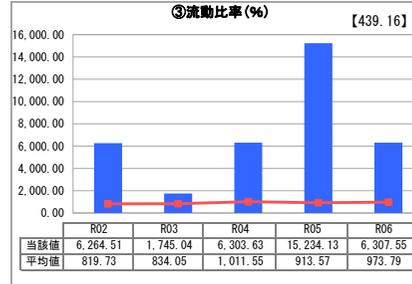
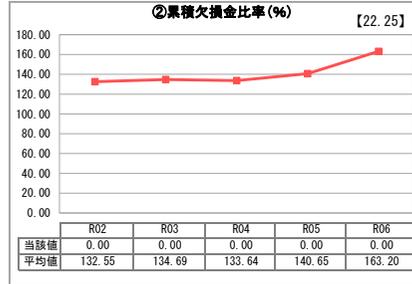
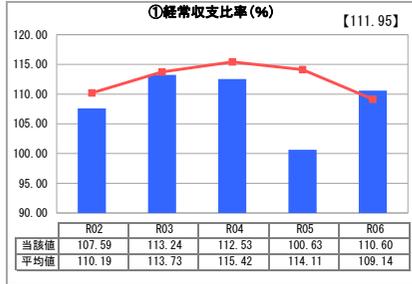
熊本県 熊本市
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	1,000	極小規模	1	133
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	99.1	10	169	自治体職員	

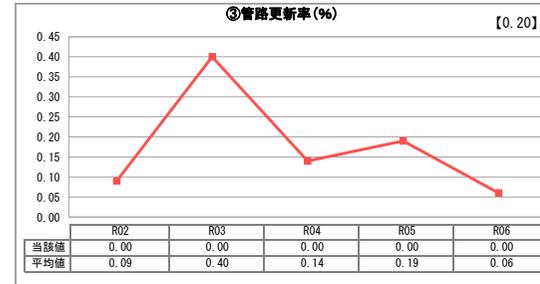
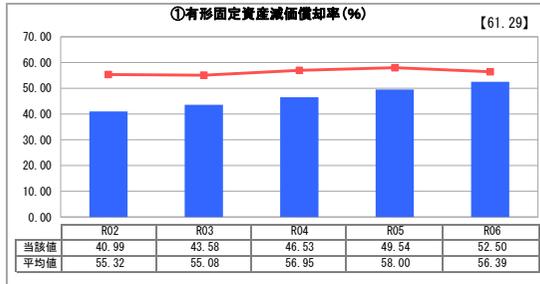
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本市の工業用水道事業は、平成22年3月23日、市町村合併により本市に引き継がれました。平成6年に分譲が開始され、平成10年度から入地が始まり、現在10社に供給しており、全区画の分譲が完了しました。規模が非常に小さいため、効率化を進めるには限界がある状態です。

①経常収支比率は健全経営の水準とされる100%以上を維持し、単年度収支は黒字で推移しています。

②累積欠損金比率は、0%を示しており、健全な経営状況であるといえます。

③流動比率は、類似団体平均値を上回っており、十分な支払い能力がある状態です。

④企業債残高対給水収益比率は企業債残高が少ないため、類似団体平均値を大幅に下回っています。

⑤料金回収率は、前年度は施設の健全度調査のため事業費が増加したことで100%を下回りました。しかし、今年度は料金回収率は100%以上に回復しており、料金収入のみで給水に係る費用を賄えています。

⑥給水原価は、前年度は事業費が増加したことで大幅に増加しました。しかし料金回収率と同様に、今年度は以前の水準へ戻り平均値を下回りました。今後も効率的な経営に努めていきます。

⑦施設利用率は、配水量の伸び悩みにより類似団体平均値より低く推移しています。

⑧契約率は、施設利用率と同様に、契約水量の伸び悩みにより類似団体平均値より低く推移しています。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値よりも低く推移していますが、徐々に増加しています。

②管路経年化率、③管路更新率については、法定耐用年数を迎える管路がないため、更新を行っていません。

全体総括

料金収入は企業活動に伴い有収水量が増加していることから前年度に比べ増収となり、費用においては、施設の維持管理費用が前年度より減少したことで、経常収支比率は令和4年度の水準に回復しました。今後の料金収入については入居企業数の大幅な増減は無い見込みです。職員配置や施設等の維持管理については、水道事業と併せて行うことで効率的に実施します。また、老朽化が進行する施設等の状況を適切に把握するとともに、必要に応じて修繕・更新工事を実施します。引き続き関係部局等と連携を図りながら、「熊本市上下水道事業経営戦略」に則った事業運営に取り組んでいます。